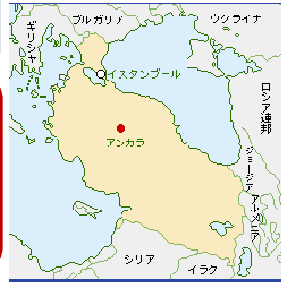




トルコ共和国 (Republic of Turkey)



- トルコへの援助総額は2014年までに累計約7,023億円。
- エルトゥールル号事件(1890年和歌山県串本沖でオスマン・トルコ軍艦エルトゥールル号が遭難し、500有余名が死亡する一方、地域住民の必死の努力により69名が救出された事件)が両国友好関係の起源。
- 防災、環境、人材育成、格差是正などの技術協力、円借款を通した橋梁、地下鉄建設などの大型インフラ事業を実施。近年では、シリア難民支援に関する地方自治体のインフラ改善支援を実施。
- 地震国であるトルコでは、防災・災害対策の強化も重要課題。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 78万平方キロメートル(日本の約2倍)
- ・人口: 7,874万人(2015年)
- ・首都: アンカラ(イスタンブールが最大都市)
- ・民族: トルコ人(南東部を中心にクルド人、その他アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人等)
- ・言語: トルコ語(公用語)
- ・宗教: イスラム教(スンニ派、アレヴィー派)。その他、ギリシャ正教徒、アルメニア正教徒、ユダヤ教徒等
- ・政体: 共和制
- ・議会: 一院制(550議席、任期4年、中選挙区比例代表制)
- ・GDP: 7,199億ドル、一人あたり 9,261ドル(2015年)
- ・経済成長率: 4.0%(2015年)
- ・失業率: 10.3%(2015年)

※特に注がない場合はトルコ国家統計庁の数値。

(略史)

1299年	オスマン帝国成立
1919-1922年	祖国解放戦争
1923年	ローザンヌ条約に基づきトルコ共和国成立
1952年	NATO加盟
1960年	軍による「5.27クーデター」
1961年	民政移管
1971年	軍による「書簡によるクーデター」
1980年	軍による「9.12クーデター」
1983年	民政移管
1999年	EU加盟候補国に決定
2005年	EU加盟交渉開始

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	約6,522億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	約36億円 (2014年度末時点)
技術協力	約465億円 (2014年度末時点)
シニア海外ボランティア	延べ72人 (2016年1月時点)

出典: ODA国別データブック2015、外務省ホームページ

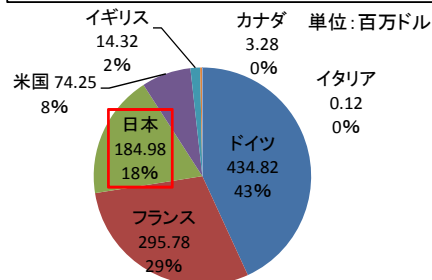
経済関係

スキーム	金額/社数(直近年)
日本からトルコへの輸出	約2615億円 (2015年、財務省貿易統計)
トルコから日本への輸出	約757億円 (2015年、財務省貿易統計)
日本からトルコへの直接投資	約560億円 (2015年、日本銀行国際収支統計)
在トルコ日系企業数	138社 (2015年10月、外務省在留邦人数統計)

人的つながり

項目	人数
トルコにおける在留邦人数	2208人 (2015年10月、外務省在留邦人数統計)
在日トルコ人数	4,723人 (2015年末、法務省在留外国人統計)
日本からトルコへの留学生数	44名(2014年、トルコ高等教育委員会)
トルコから日本への留学生数	219名 (2015年、日本学生支援機構(JASSO))
日本からトルコへの観光客数	約10万人(2015年、トルコ文化観光省)
トルコから日本への観光客数	約17,000人 (2015年、日本政府観光局(JNTO))

トルコへの主要ODA供与国 (G7加入国: 2014年実績, 出典: OECD/DAC)



日本とトルコ共和国との協力年表

年代	案件
1952年	サンフランシスコ平和条約発効 第二次大戦の影響で途絶えていた国交が回復
1958年	日トルコ査証免除取極発効
1985年	イラン・テヘラン在留邦人救出事件
1988年	第二ボスポラス大橋開通
1989年	日トルコ航空協定発効 成田ーイスタンブール直行便の運航開始
1993年	日トルコ投資促進保護協定発効
1998年	土日基金文化センター完成
1999年	トルコ北西部大地震 (イスタンブール東部のイズミット市、デズジェ市)
2010年	「2010年トルコにおける日本年」 1年間を通して186の認定行事を実施
2010年	カマン・カレホック考古学博物館開館
2011年	3月11日、東日本大震災が発生 トルコからの救助隊が仙台にて3週間(米国を除き最長)にわたり活動 10月、トルコ東部ヴァン県を中心とする地震が発生
2013年	安倍総理とエルドアン首相(当時)との間で日トルコ戦略的パートナーシップの構築に関する共同宣言に署名
2013年	マルマライ(ボスポラス海峡横断地下鉄)開通 トルコ建国90周年の10月29日に海底地下鉄が開通 開通式典には安倍総理が出席
2014年	日トルコ原子力協定発効
2015年	トルコ南東部「地方自治体インフラ改善事業」円借款契約の調印
2015年	エルトゥールル号事件125周年を記念し、日トルコ共同制作映画「海難1890」が両国で公開
2016年	トルコ日本科学技術大学設置協定に署名

イラン・イラク戦争によりテヘランに取り残された邦人を2機のトルコ航空機が救出。エルトゥールル号事件での日本の救助支援の恩返しと言われることもある。

円借款により日本のトップクラスの技術を集結させたイスタンブールのアジアとヨーロッパをつなぐ全長1,510メートルの吊り橋が完成。2002年には耐震補強工事を行い「免震」という概念を初めてトルコに導入。現在も約15,000台/日の交通量を誇る主要インフラ。

死者18,000人超、負傷者48,000人超。日本は緊急援助隊の派遣、緊急円借款(236億円)、緊急物資・無償援助(約5億2,800万円)、仮設住宅供与(1,900戸)等の支援。

一般文化無償資金協力(4.36億円)によりカマン・カレホック遺跡出土品を保管・展示する施設を建設。地域に根付いた施設として地元民の強い支持を得ているのが特徴的。

死者600名超、負傷者4,150名超。日本から3,000万円を上限とする緊急援助物資供与、1,000万ドルの緊急無償支援を実施。

トルコ150年来の夢とされたボスポラス海峡を横断する地下鉄を円借款(1,962.53億円)と日本企業の技術で建設。フェリーで約30分かかっていた海峡間の移動が4分に短縮。

世界最大数のシリア難民を受け入れているトルコに対して、地方自治体の上下水道、廃棄物処理施設等インフラ整備費用等に充当する450億円を限度とする円借款貸付契約を調印。



第二ボスポラス大橋



カマン・カレホック考古学博物館入口



トルコ東部地震に際しトルコに到着した緊急援助物資



マルマライ開通式典



「地方自治体インフラ改善事業」円借款契約調印式



「海難1890」ポスターを持つ安倍総理とエルドアン大統領